

「情報管理コンプライアンス・セミナー」を開催

～ 乗合代理店における情報管理に関する理解を図る ～

一般社団法人日本損害保険協会(会長：城田 宏明)は、2月6日(木)に、会員会社を対象とした情報管理コンプライアンス・セミナーを開催しました。

セミナーには、個人情報保護法や保険業法など様々な分野に詳しく、損害保険の実務に精通している安田和弘弁護士(堀総合法律事務所)を講師に招き、乗合代理店における情報管理について、損害保険で扱う情報の特性や関係法令の観点も踏まえた課題等を解説いただきました。



主催者を代表し、当協会コンプライアンス委員会・橋詰委員長(東京海上日動社 理事・業務品質部長)から「乗合代理店における漏えい事案について、問題の構図や本質の理解、各社における再発防止や実務の改善、より分かりやすいルールやマニュアルの整備等に繋げていただきたい。」と挨拶し、コンプライアンスの徹底を促しました。

当日は、会員会社のコンプライアンス部門を中心に75名が参加しました。参加者からは、「本事案が個人情報保護法をはじめとして独占禁止法などの法規制と複雑に関連している問題であることが良く理解できた。」「今後の再発防止に向けて取り組む上で大変参考になった。」などの感想が寄せられました。本講演は、会員会社向けにオンデマンド配信し、会員会社の幅広い部門で視聴し、コンプライアンス推進に活用することとしています。

当協会では、会員会社におけるコンプライアンスの徹底に資する各種取組みを引き続き実施して参ります。